

【Ⅲ－４ 質の高いリハビリテーションの推進－④】

④ 疾患別リハビリテーション料の訓練内容に応じた評価の見直し

第１ 基本的な考え方

より質の高いリハビリテーションを推進する観点から、疾患別リハビリテーション料について、訓練内容に応じた評価に見直す。

第２ 具体的な内容

各疾患別リハビリテーションについて、離床を伴わずに行う場合の区分を新設する。

改 定 案	現 行
【心大血管疾患リハビリテーション料】 [算定要件] １ 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）（１単位） イ 理学療法士による場合 205点 ロ 作業療法士による場合 205点 ハ 医師による場合 205点 ニ 看護師による場合 205点 ホ 集団療法による場合 205点 ２ 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅱ）（１単位） イ 理学療法士による場合 125点 ロ 作業療法士による場合 125点 ハ 医師による場合 125点 ニ 看護師による場合 125点 ホ 集団療法による場合 125点 <u>注７ １及び２について、イからホまでにかかわらず、特定の患者に離床を伴わずに20分以上個別療法であるリハビリテーションを行った場合は、所定点数の100分の●●に相当する点数により算定する。この場合、通則第４</u>	【心大血管疾患リハビリテーション料】 [算定要件] １ 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）（１単位） イ 理学療法士による場合 205点 ロ 作業療法士による場合 205点 ハ 医師による場合 205点 ニ 看護師による場合 205点 ホ 集団療法による場合 205点 ２ 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅱ）（１単位） イ 理学療法士による場合 125点 ロ 作業療法士による場合 125点 ハ 医師による場合 125点 ニ 看護師による場合 125点 ホ 集団療法による場合 125点 （新設）

<p><u>号にかかわらず、患者 1 人につ き 1 日 2 単位まで算定する。</u></p> <p>※ <u>脳血管疾患等リハビリテーショ ン料、廃用症候群リハビリテーシ ョン料、運動器疾患リハビリテー ション料及び呼吸器リハビリテー ション料についても同様。</u></p>	
--	--